



平成 21 年 6 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社アイディーユー
代 表 者 名 代表取締役社 池添吉則
(コード番号：8922 東証マザーズ)
問い合わせ先 取締役管理本部長 前田真昭
電 話 番 号 (06) 6452-7771 (代表)

第三者割当による新株式発行の払込完了に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 6 月 12 日開催の取締役会において決議いたしました第三者割当による新株式発行に関して、本日払込が全て完了いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

I. 第三者割当による新株の払込完了について

1. 新株発行の概要

(1) 発行新株式数	普通株式 8,222 株
(2) 発行価格	1株当たり 17,800 円
(3) 発行価格の総額	146,351,600 円
(4) 資本組入額	1株当たり 8,900 円
(5) 資本組入額の総額	73,175,800 円
(6) 増加する資本準備金の額の総額	73,175,800 円
(7) 募集又は割当の方法	第三者割当の方法による
(8) 割当先及び割当株数	Generation Capital Ltd. 5,610 株 全宅ファイナンス株式会社 561 株 全宅住宅ローン株式会社 561 株 JR Asset Management Co., Ltd. 1,490 株
(9) 申込期日	平成 21 年 6 月 26 日
(10) 払込期日	平成 21 年 6 月 29 日

2. 今回の増資による発行済株式数及び資本金の額の推移

増資前発行済株式総数	247,793 株	(増資前の資本金の額	1,807,033,334 円)
増資による増加株式数	8,222 株	(増資による増加資本金の額	73,175,800 円)
増資後発行済株式総数	256,015 株	(増資後の資本金の額	1,880,209,134 円)

II. ご参考

◆Generation Capital Ltd.の選定理由及びシナジー効果に関して

Generation Capital Ltd.(以下「Generation Capital」といいます。)は、アジア・パシフィックエリアを対象とする投資会社であり、日本国内においては、複数の上場企業に対する投資実績を有しております。

当社は、上記割当先選定方針に沿って、複数の投資家との間で、当社への出資についての協議・交渉を行ってまいりました。かかる協議・交渉を経て、当社は、一定の条件を満たした場合には当社からの新株予約権の行使要請が可能である点(詳細は上記「※エクイティ・コミットメント・ライン条項を含む第三者割当契約について」参照)など、Generation Capital の提示した条件が、既存株主様及び当社にとって最も有利な内容であると判断しました。また、Generation Capital は、日本の上場株式に複数の投資実績を持ち、当社の事業展開を理解していただいたうえで、経営方針を尊重する意向を有している純投資目的の金融投資家であること、今回の新株式及び新株予約権の発行により当社の自己資本の充実を図ることができることともに、同社が今後の当社による今後の資金調達についても柔軟に協議に応じる意向を示していることなども踏まえ、同社を新株式及び新株予約権の割当予定先として選定いたしました。

◆全宅ファイナンス株式会社及び全宅住宅ローン株式会社の選定理由及びシナジー効果に関して

全宅住宅ローン及び全宅ファイナンスは、いずれも社団法人全国宅地建物取引業協会連合会(以下「全宅連」といいます。)傘下会員の出資により設立された会社で、独立行政法人住宅支援機構等による住宅ローンの媒介及び貸付を行っています。

当社は、両社による新株式の引き受けを含めた関係強化につき協議・交渉を重ねてまいりました。かかる協議・交渉を経て、当社は、全宅住宅ローン及び全宅ファイナンスに対する新株式の第三者割当の実施により両社との関係を強化し、今後、両社が媒介及び貸付を行った住宅ローン等担保不動産の任意売却の一環として当該担保不動産の担保権者に対し、当社が運営する「MOTHER'S AUCTION」またはソリューションテクノロジーのASP(完全パッケージとして、Web上からサービスを提供することをいいます。)・Saas(相手先のポータルサイト等に合わせ、カスタマイズしてサービスを提供することをいいます。)化等により当社から提供を受けたオークションシステムの運営者を民間競売として推奨、紹介していただくことで、当社のオークションシステムの更なる活性化が図れ、シナジー効果が高いと判断いたしました。

以上を踏まえ、当社は、当社による全宅住宅ローン及び全宅ファイナンスに対する新株式の第三者割当により、両社との関係を強化すると共に、当社の自己資本の充実を図ることができると判断し、両者を新株式の割当予定先として選定いたしました。

◆JR Asset Management Co., Ltd.の選定理由及びシナジー効果に関して

JR Asset Management Co., Ltd.(以下「JR AMC」といいます。)は、韓国に拠点を置く、韓国外の不動産に特化した不動産投資信託向けのアセットマネジメント事業を展開している事業会社です。同社の大株主かつ取締役会長である李邦柱(イ・バンジュウ)氏は、現代自動車代表取締役社長及び韓国住宅協会会長を歴任し、現在、現代産業開発顧問を務めております。また、同社の株主であり代表取締役であられる金寛永(キム・クァンヨン)氏は、現在、韓国住宅学会取締役、アジア不動産学会取締役、Just R 不動産投資顧問株式会社の代表を務めており、李氏及び金氏は、いずれも韓国及び海外の不動産業界に精通しております。

JR AMC は、従来から、当社の不動産ソリューション事業に関心を示して頂いており、当社は、同社との間で、JR AMC による当社の新株式の引き受けを含めた関係強化につき協議・交渉を重ねてまいりました。かかる協議・交渉を経て、当社は、JR AMC に対する新株式の第三者割当の実施により、自己資本の充実を図ると共に、同社との関係強化は、同社の有する海外の不動産業界に関する同社の知識・経験を活用することにより、アジアを中心とした当社事業の将来的なグローバル化に資すると判断し、同社を新株式の割当予定先として選定いたしました。

以 上